

ICT を活用した学習場面

B3 思考を深める学習, C2 共同での意見整理

国語科	2年3組 平 里奈
単元名 お話ロイロを作って1年生に本の面白さを伝えよう(きつねのおきゃくさま)(9/10)	
本時のねらい: 自分が選んだ場面について, 登場人物の人柄や気持ちを基に音読の工夫を考えたり, 音声を録音しながら繰り返し音読の練習をしたりすることを通して, 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができるようにする。	
評価規準: 自分が選んだ場面について, 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。【知識・技能】	

指導の流れ

児童の活動 (ICT 活用の様子)・ICT 活用のねらいや留意点

1. 音読の工夫を考え, 音読シートに記入する。
2. ペアで, 目指す読み方に合う工夫になっているか, 確かめ合う。
3. ロイロノートを使って, 録音しながらペアで音読の練習をする。



- ・ロイロノートに録音することで, 自分の音読を客観的に繰り返し聞くことができるようにし, 工夫について自分自身で聞いて確かめたり, 友達からのアドバイスの意味を確かめたりしながら, 練習することができるようにする。
- ・データファイルに数字をつけ, 録音の区別が明確になるようにする。

ICT 活用の効果 (困りが解決されたか)

成果: 低学年の児童は, 発達段階として, 自分自身を客観視することが難しい。そのため, 自分の音読(工夫)が「目指す読み方」の通りにできているのか, 自分自身で確かめながら練習させることが難しかった。今回, ロイロノートの録音機能を使って音読を録音しそれを聞きながら, 「目指す読み方」に合った音読(工夫)ができているのか確かめるようにしたり, 友達からのアドバイスについて確かめるようにしたりすることで, 「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する」という本時のねらいをより高いレベルで達成することへつながった。

課題: 録音機能を使用する際, 他の児童と距離が近いと互いの音が入ってしまう。そのため, 個別に十分に距離を取ったり部屋を変えたりするなど, 防音に配慮した場の設定が重要となる。